

新型コロナウイルス感染予防対策の一層の強化について(お願い)

～信州版『新たな日常のすゝめ』の実践をお願いします～

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、年末年始には政府の「Go To トラベル事業」が全国一斉に一時停止されるなど、今までよりもより踏み込んだ最大限の感染予防対策が求められています。

本校では、施設消毒や昼食時の対面を避けるなど様々な対応をとってまいりましたが、県内外の感染拡大の状況を踏まえ、生徒とご家族・学校職員が全員で今回紹介します 信州版『新たな日常のすゝめ』の内容を改めて確認し、年末年始休業中、ご家族とともに正しく予防行動して感染防止の実践を徹底しながら三学期を迎えたいと存じます。

つきましては、各ご家庭におきましても下記のことについてご承知のうえ、感染予防に引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

記

1 信州版『新たな日常のすゝめ』の内容について(『新型コロナウイルス感染症対策 長野県民手帳』より)

- ① 新型コロナウイルスは、目・鼻・口から感染します。
- ② 「飛沫感染」は咳・くしゃみや、2m以内でマスクをせずに会話を行うことで生じる飛沫が目・鼻・口に入ることで感染します。
- ③ 「接触感染」はウイルスがついた手で目・鼻・口に触れることで感染します。
- ④ 感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう。
- ⑤ 3つの基本、3密の回避、3つの確認
 - ・身体的距離(2m)の確保、マスクの着用(人混みの中・会話の際)、手洗い・手指消毒
 - ・換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面
 - ・体温確認、体調確認、行動履歴確認。風邪症状があるときは外出を控える。

2 陽性者が多数発生している地域との往来について

- ・陽性者の多い地域と往来する場合は、慎重な決断と行動をお願いします。
- ・当該地域から戻った後は、特に自らの健康観察に留意してください。
- ・陽性者の多い地域へ出かける場合は、学級担任までご連絡をいただきますようお願いいたします。

3 三学期にむけて

- ・休業中も健康観察や検温等は引き続き行い、不要不急の外出を避けるなど感染拡大防止に努めてください。
- ・本校では生徒達の健やかな学びを最大限保障する取組を進め、誹謗中傷等を抑止し人権に配慮した思いやりや行動を醸成したいと考えています。偏見や差別、いじめ等が起こらないように、SNS等の利用も含めて思いやりのある行動をお願いします。
- ・国の新型コロナウイルス感染症対策本部からの「寒冷な場面における新型コロナ感染防止等のポイント」、感染リスクが高まる「5つの場面」を裏面に載せます。年末年始休業中の生活環境の参考にご覧ください。

信州版「新たな日常のすゝめ」



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

長野県蓼科高等学校
教頭 山極 俊一郎
電話 0267-56-1015